

## 一般質問

## Q &amp; A

## ここが聞きたいとよ

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目について(質問と回答の内容を要約)を掲載しています。

ごとう くに はる  
後藤 邦晴 議員

- 安全・安心のまちづくりについて
- 西鉄五条駅前の新設歩道について

はらだ くみ こ  
原田 久美子 議員

- 減災対策について

A

部長 ①太宰府東小から太宰府東中までの通学路に街路灯を増設して

安全・安心のまちづくりについて三点伺う。①太宰府東小から太宰府東中までの通学路において安心して通学ができるための考えは。②太宰府東小学校門前の垣根について、どうすれば安全なのか見きわめて対処していただきたいと思うが考えは。③高雄公園の周辺整備について、高雄公園へ続く遊歩道の件で、美化センター下の空き地から歩道をつくっていただきたいと質問していたが、どのようになっているか。

問

## 東小校区の道路整備は

おりましたが、良好な視覚を確保するために照明灯の整備を行い安全な通学路となるよう考えております。②太宰府東小、校門前の垣根ですが、見通しが悪いというところで一部垣根の下を剪定しております。生垣がカイヅカですので強く刈り込むことができます。今後も生垣の剪定ができるよう関係者と協議を進めてまいります。③高雄公園北側から太宰府東小学校横までのルートについて遊歩道の勾配、歩行者の安全性などを考慮しながら検討中で、工事着工は平成26年度予定です。



太宰府東小、中学校の通学路の安全確保を

問

## 本市の減災対策は

減災対策について、四点伺う。①減災するための手段として、使い分けができる避難場所を考えているか。②警固断層について、周辺住民、小中学校への周知対策は。③小中学校での防災教育の取り組みについて。④砂防事業並びに森林の整備、河川の整備や維持管理について、本市の計画の現状は。

A

部長 ①避難場所の配置は、市内各行政区を単位とするブロックを1次避難圏としており、避難場所として地区公民館、共同利用施設を設定し、各小中学校のグラウンドや大規模な公園を指定しており、広域避難圏として全行政区

を7ブロックに分類し市内小中学校や公共施設を避難所として指定しております。②本市には警固断層と宇美断層の2つがあり、この両方について平成23年3月に作成した太宰府市ハザードマップに記載しており、市内全戸、全事業所及び各施設に配付し、ホームページでも閲覧できます。③さまざまな災害発生時における対処について理解を深める災害安全教育を行っています。④堆積土砂及び樹木の撤去の要望を毎年那珂県土整備事務所に行っており、河川内の樹木の撤去を行っています。



減災対策は河川管理から



ふじ い まさ ゆき  
**藤井 雅之 議員**

- 下水道事業について
- 教育行政について

は せ がわ こう せい  
**長谷川 公成 議員**

- 子どもの体力向上について

**Q** 教育行政について、次の二点について伺う。①就学援助の認定は、前年度の所得基準が根拠になっているが、突然の失業や給与等の減額などの事態に対応するために自治体では直近の給与明細3カ月分を見て認定を行っているが、本市でも検討する考えはないのか。②通学路の安全対策で、特に水城西小学校区内で都府楼南四丁目のシルバー人材センター前の踏切について改善実施はいつになるのか、また、JR都府楼南駅と水城駅間の踏切の整備の考えはないのか伺う。

## 問

### 早急な通学路の安全対策を

**A** 部長 ①仮に3カ月の給与明細で判定すると、その他の収入がないのが今後の経済状況をどう予測し、追跡調査や還付請求などに及ぶおそれがあるので、現時点では困難ではないかと考えております。

②シルバー人材センター前の踏切拡張については、社会整備事業の中の項目として挙げていますが、予算的にははつきりいつになるかは言えませんが、なるべく早い時期に着工したいと考えています。



早期の踏切拡幅を

## 問

### 子どもの体力向上への取り組みは

**Q** 子どもの体力向上について、三点伺う。①新体力測定の結果（平成23年度）を見てみると、小学校一年生男子は全国平均並だが、他の学年は全国平均を下回っている。この現状について対応策を伺う。②各学年ごとに、年間を通しての体力向上プログラムが必要だと考えるが、見解は。③グラウンドの芝生化により、子どもたちがけがを恐れず駆け回れ、自然と体力が向上してくるかと考えるが、芝生化への検討はなされたのか。

**A** 部長 ①太宰府市を含めまして、全国平均を下回っており体力向上は福岡県全体の課題となっております。調査結果の詳細な分析に基づき各学校の体力向上プラン作成と実践を行っていく予定です。②各学校の特色をいかした一校一取組みを推進していきます。③全国で公の学校グラウンドの芝生化の率は5%で、主に都市部が中心のようです。メリット、デメリット、管理費等を調査し、まだ課題も多く時期尚早ではないかと考えます。



全国平均を上回るプログラム作りを



こやなぎ みちえ  
小柳 道枝 議員

- 国道・県道・市道の安全対策と管理体制について
- 交番の新設、誘致について

わたなべ みほ  
渡邊 美穂 議員

- 改正労働契約法についての市の考え方
- 市庁舎の省エネルギー対策について
- 非婚母子世帯について

**Q** ①県道31号線の太宰府歴史スポーツ公園付近から吉松信号間の歩道横に小さな池がある。樹木が歩道にはみ出し、夜になると暗く通行の妨げにもなっている。安全面からも早急な整備や管理が必要であると考えますが、市の見解は。

**A** ②国道3号線下り君畑交差点そばの擁壁に描かれている壁画は排気ガスやほこりのせいか大変汚れている。管理体制などどのようになっているのか伺う。

**部長** ①公園管理棟入口西側の緑地帯と池については、自然林ということ

分的にしか剪定の管理を行っていませんでした。歩道部については歩行者が安全に通行できるように強めの剪定を行い、池全体を明るく見通しがきくようにしたいと考えており、まだ暗いようなら那珂県土整備事務所に街路灯の増設を要望していきたいと考えております。

②昭和63年に梅の花をデザインした壁画で、国土交通省、旧建設省が施工したものです。排気ガスによる汚れや経年劣化により梅の花もくすんでいるのが現状です。管理者である国土交通省と協議を進めていきたいと考えています。



歩行者、自転車それぞれの安全確保を

## 問

### 安全安心な道路対策、管理体制を

**Q** 若年層の非正規労働への従事は晩婚化及び少子化の遠因だとも言われている。昨年8月労働契約法が改正、公布され本年4月1日から無期労働契約への転換と不合理な労働条件の禁止が施行されたが、①現在、市の職員は335名と聞いているが、嘱託や臨時職員など非正規職員の数は何名か。②本市の非正規職員には期末手当や通勤手当が出ていないと聞いているが、非正規の職員も正職員とほぼ同じ勤務内容で働いており、一定の基準の諸手当について支給を考えるべきではないか、見解を伺う。

**A** **部長** ①平成25年6月3日現在の正職員数は338名で嘱託職員及び臨時職員数が94名となっております。

②嘱託職員及び臨時職員に対する手当については、嘱託職員の規定に基づき休日勤務手当または時間外勤務手当を支給していません。嘱託職員及び臨時職員に対する期末手当や通勤手当などを支給している市は殆どないという現状であり、筑紫地区においても支給をしていないという状況ですが、今後、県内自治体の状況を注視していきます。

## 問

### 嘱託職員の処遇改善をどうする





うえ 疆 議員

- 太宰府市災害時等要援護者避難支援制度について
- 安心情報キット(救急医療情報キット)について
- 小中学生における土曜日の授業の実施について

ふくひろ かずみ 福廣 和美 議員

- 高齢化対策について
- 交通安全対策について

問

高齢者が安心できる生活環境を

Q

次の二点について伺う。  
 ①高齢化に合わせた交通システムについて、以前予約型、登録型のデマンドバス、タクシーの紹介をしたが、今現在どのようになっているのか。  
 ②高齢化社会の中で、子どもたちが親元に帰らないため空き家になるケースが増えていくことが予想されるが、空き地同様、条例制定の考えはあるか。

A

部長 ①平成21年7月に健康福祉部が事務局になり、関係課職員を委員としたデマンドタクシー等検討委員会を立ち上げ、15回の会議を重ね、デマン

問

要援護者避難支援は進んでいるのか

Q

災害時等要援護者避難支援制度について個別計画推進委員会を設置し、仕組みづくりを進められているが、次の四点について伺う。  
 ①申請集約し、自治会へ情報提供するとあったがいまだ報告はない。  
 ②希望する人が申請する手あげ方式と民生、福祉委員からの登録申請を勧める同意方式の提出状況と避難支援者の登録状況は。  
 ③市が積極的に支援者としての協力を市民にお願いする必要があると考えるが、所見は。  
 ④自治会の温度差も考えられるが、制度内容の変更を考えているのか。

A

部長 ①6月13日から校区自治会を訪問し、ご報告をしております。  
 ②550名の方が要援護者として登録され、同意方式で505名、手あげ方式で45名になり、その支援者に54%が決定しています。  
 ③市および社会福祉協議会において、ボランティア団体での避難支援を調整し、市民の皆様は制度の必要性を働きかけてまいります。  
 ④制度の内容変更は考えていません。個人情報については、自治会ごと覚書を交わした上で、名簿を提供していく予定です。

ド交通のメリット、デメリットなどを検討してきました。今後も既存のまほろば号や補充する各地域交通体系の見直しや実情に応じた対策を考えていきます。  
 ②平成24年度に空き家の適正管理に関する条例の必要性について関係課による視察や協議を行ってきました。その結果、現状では空き家に関する相談件数は多くないものの、いずれ問題化するという認識で一致しました。今後、先進地の事例等も参考にしながら、関係課で協議を行い、検討していきます。



外出支援策は



こう たけ  
**神武 綾 議員**

- スポーツ施設の充実について
- 子どもの放課後や長期休みの居場所について
- 中学校給食(ランチサービス)について

かど た なお き  
**門田 直樹 議員**

- 本市における子どもの読書活動の推進について

**A** 部長 建設予定の総合体育館の規模は、策定した基本計画に対するパブリックコメントを経て、11月末にはコンペ方式入札で基本設計が決定される予

**Q** 市内のスポーツ施設の充実として、国士館大学跡地の松川公共施設と看護学校跡地に体育複合施設を建設、整備する予定があるが、体育センター、南体育館と4つになる。市民の方からは体育館ばかりつくってどうするんだ、どうなるのかという声が多く聞かれる。それぞれのランニングコストと今後の方向性について伺う。

## 問

### スポーツ施設の今後は

定です。年間の維持管理費は、約8600万円から4600万円、国士館大学跡地の体育館は約1000万円、体育センターは232万円、南体育館は約800万円です。高齢化社会における市民の健康づくりという観点から、新たな体育館が必要と考えています。体育センターは、中心地区、国士館大学跡地は、東部地域の屋内スポーツ施設。南体育館は地域に根差した体育館として、また市民大会などの中規模の大会が開催できるものと考えています。



公共施設の在り方は (体育センター)

## 問

### 子どもの読書活動の支援は

**Q** 太宰府市子ども読書活動推進計画では、子どもの自主的、主体的な学習や読書活動を支援、推進するとしているが、その進捗状況と今後の見通しについて次の四点を伺う。

①学校図書館図書標準による学校図書館に備えるべき蔵書冊数の割合は。

②中学校にも専任の学校司書を配置する考えはあるのか。

③市民図書館の司書一名が学校図書館を訪問しているが、どのような立場で支援を行っているのか。

④市独自の取り組みは。

**A** 部長 ①学校図書館図書標準の割合は、小学校は約103%、中学校101%です。②5月から小学校全校に図書司書を配置し、市民図書館から司書が巡回支援しています。中学校は、市民図書館の司書が週3回常駐しています。長年の経験と専門性を生かし、興味を覚える説明書きや読書相談、教師からの調べ学習に対する資料相談などを受け、読書環境の整備につとめています。③学校からの疑問や質問に答え連携支援を行っています。④小学校への移動図書館の巡回乗り入れを実施しています。



子どもがもっと本に触れる機会を



## あしかり 茂 議員

- 行財政改革への取り組みについて
- 公共施設の再配置(案)について

## おばた まゆみ 議員

- 給食のアレルギー対策について
- 老朽化した公共施設への今後の対策について
- 風疹の予防接種の助成について

**Q** 平成17年9月策定の、第4次太宰府市行政改革大綱には、主要推進項目として、①財政の健全化を目指した市政運営を進めます、②市民感覚の市政運営を目指します、③簡素で効率的な市政サービスを提供に努めます、④より質の高い市民行政経営改革計画は存在しているのか、また、推進項目③に太宰府市職員人材育成基本方針に触れているが、前市長名義のものであり、井上市長名義の人材育成基本方針は存在しているのか伺う。

**A** 部長 三位一体改革による地方交付税の減少や平成15年度豪雨災害の復旧事業、年々増加の一途をたどる扶助費などにより、逼迫しております。財政状況も、人件費の抑制、公共事業における国の補助金や交付金の活用、新たな歳入の確保など工夫と懸命の努力を続け、経常収支比率が90.9%、実質公債費率が6.7%になるなど、数字として成果が表れています。太宰府市職員人材育成基本方針については時代の流れや社会の変化に対応して敏感に対応し、必要に応じて改定を行います。



市民サービスは充実しているか

## 問

## 行財政改革の具体的成果は

**Q** 厚生労働省によると、国民の2人に1人が何らかのアレルギーに悩まされている。近年は子どもの生活を取り巻く環境も大きく変化し、子どものアレルギー疾患も年々増加している。太宰府市での給食のアレルギー対策について、三点伺う。①小学校での食物アレルギーの子どもの実態。②アレルギーの把握とアレルギー対応食をどのように提供されているのか。③事故を起こさないための取組みとして教職員への勉強会、エビペンの周知はどのように行われているのか。

**A** 部長 ①本市における食物アレルギーの子どもの実態は6月1日現在、小学校7校で合計96人の児童にアレルギーがあり、うち15人がアナフィラキシーショックのおそれがある児童です。エビペンを持参して登校している児童は2名です。②保護者に使用食材のわかる献立表を事前に配付し、原因食品を除いた除去食を提供するなどの取組みを行っている。③昨年6月、太宰府西小でエビペン研修を全教諭対象に行っている。アレルギーの情報は、養護教諭、栄養士、担任で学校全体での共有が図られておるところです。

## 問

## 学校現場のアレルギー対策は



## 用語メモ

**エビペン**…アナフィラキシー（急性アレルギー反応の一つで、急激に、且つ全身に激しい病状を呈するもの）が現れた時に使用し、医師の治療を受けるまでの間、病状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤（アドレナリン（エピネフリン）自己注射薬）のこと。